

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項		評価対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和7年3月31日		
施設の概要		指定管理の状況			
名称	可児市文化創造センター・アール	指定管理者	名称	公益財団法人可児市文化芸術振興財団	
所在地	可児市下恵土3433番地139		所在地	可児市下恵土3433番地139	
設置目的	心豊かな地域文化の創造と振興を図り、文化芸術を通して全ての市民が地域社会で生き生きと暮らすことのできるまちづくりに寄与するため。	指定管理期間	令和2年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (4期目)		
		選定種別	公募・ 非公募	利用料金制	採用 (一部・完全)・不採用
供用開始年月	平成14年7月	業務内容	1. 文化芸術事業の企画及び実施に関する業務 2. 市民の文化芸術活動の支援に関する業務 3. センターの施設(敷地及び敷地内の付属施設を含む。以下同じ。)及び備品の貸出し(使用の許可を含む。)に関する業務 4. センターの施設及び備品の維持管理に関する業務 5. その他センターの設置の目的を達成するために必要な業務のうち、市長の権限に属するものを除く業務		
施設所管部署	市民文化部 文化スポーツ課				

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)
開館日数	277 日	307 日	307 日	306 日
施設利用者数	81,067 人	147,107 人	159,090 人	203,492 人
施設稼働率	45.7 %	56.7 %	58.9 %	58.6 %

② 自主事業実施状況

項目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)
開催回数	38 回	126 回	102 回	102 回
参加人数	20,722 人	32,207 人	21,235 人	18,647 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
		人
	資料5-1、5-2「事業報告書」参照	人
		人
		人
		人
		人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
指定管理料	438,000,000	438,000,000	438,000,000	438,000,000	438,000,000
利用料収入	22,932,900	33,282,550	35,007,335	50,000,000	39,866,425
公演事業収入	3,710,370	18,021,982	19,992,470	15,000,000	14,022,990
入場料収入	26,869,750	43,808,025	52,412,800	48,960,000	47,946,300
その他	45,135,721	109,607,319	83,465,782	66,225,000	78,818,631
収入計 A	536,648,741	642,719,876	628,878,387	618,185,000	618,654,346

② 支出

単位:円

項目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
人件費	164,138,492	176,393,832	177,968,618	159,815,000	188,680,858
光熱水費	45,983,661	67,134,892	51,758,769	46,800,000	62,319,979
委託費	267,519,577	286,444,159	291,450,643	286,938,000	281,397,418
租税公課	16,508,000	15,879,670	19,560,300	19,515,000	19,442,800
その他	68,745,775	88,990,453	89,374,902	120,117,000	88,618,281
支出計 B	562,895,505	634,843,006	630,113,232	633,185,000	640,459,336
収支 A-B	-26,246,764	7,876,870	-1,234,845	-15,000,000	-21,804,990

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	年度当初の事業計画どおり確実に実施している。特に、文化芸術を通じて人々の絆や生きる活力を創り出す「まち元気プロジェクト」は内容が充実している。	A	契約に基づく業務が計画通りに遂行され、緊急時における市民の安全性も確保されている。さらに、来館者数も着実に増加している。	A
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	業務体制が明確に示されており、各事業の担当等も細かく決められている。また、貸館事業においては、舞台技術や制作の専門知識を持った職員の配置により、きめ細かいサポートが可能となっている。	A		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適正に整備・保管されている。	A		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適正に点検・保守が実施されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	対処マニュアルや緊急連絡網は、防災センターに整備・保管されており、事後対応や事故の記録も適正に実施されている。また、年に2回防災訓練を実施し、緊急時に備えている。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	新型コロナウイルス感染症の影響が未だに残るものの、広く市民が参加できる事業が企画されるなど、来館者数は着実に増加している。	A		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	地域に根差した劇場として運営が行われているとともに、近年、劇場に期待されている社会包摂機能を大いに意識した取組が実施されている。	A	認知度が非常に高く、多くの市民に広く浸透している点は高く評価できる。また、設置されたフリースペースが積極的に利用されており、地域住民の交流や利便性の向上に寄与している。さらに、アンケート結果には感謝のコメントが多く寄せられており、利用者の満足度は概ね高い水準にある。加えて、情報提供の方法にも工夫が見られ、利用者にわかりやすく、魅力的に伝えようとする姿勢が確認できる。	A
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	自主事業におけるアンケート結果や施設利用の際に提出するチェック表に記入されているご意見、ご感想には感謝のコメントが多く、満足度は高い。	A		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	パンフレットやホームページ、広報誌ala TIMESにおいて計画的に行われているほか、新聞・TV等へも積極的にPRを行っており、その認知度も非常に高くなっている。	A		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情を含むご意見、ご感想に関する記録簿を作成しており、その内容について情報共有が図られ、適切に対応されている。	B		
収支状況	指定管理施設の経理事務の状況	指定管理施設に関する経理事務は適正に行われているか	指定管理に関する経理事務は、会計事務所を通して適正に行われている。	A	会計事務所による監査を通じて適切に処理されており、財務の透明性は確保されている。一方で、インフレの影響により支出が増加している点が確認された。	A
	指定管理者の財務状況	指定管理者の財務状況は適正か	光熱費・人件費の急激な高騰により計画時より支出が大幅に増加しているが、収入はほぼ計画通りであり、また、効率的な事業運営により大幅に経費削減ができています。	B		
総合評価			主な指定管理業務である文化芸術事業の企画及び実施や活動支援、施設管理を状況に合わせて適正に実施している。また、社会包摂機能を大いに意識した運営が行われている。これらの活動は、日本芸術文化振興会(文化庁)の「劇場・音楽堂機能強化推進事業」において、全国で8の拠点の内の1つに採択され5年間の継続支援を受けており、全国からも注目される運営が行われている。	A	「所見」欄に記載	A

所見	<p>全ての項目において高い評価となっており、特段の問題は認められない。可児市において誇るべき素晴らしい施設であり、サービス水準も高い水準に維持されている。実施されている様々なイベントには独自性があり、設置目的に沿った適切な運営がなされている。収支面では経常利益がマイナスとなっているが、これは近年のインフレの影響によるものであり、指定管理料の見直しにより解決可能と考えられる。収支全体では赤字となっているものの、財務内容自体は健全であると評価できる。今後は利用料収入の増加に向けた改善策を講じることで、さらに安定した運営が期待できる。</p>
----	--

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されてないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準 (評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である